

重要取組シート

上下水道局 水道部

取組項目		施設の老朽化・災害対策の着実な推進 (地震対策・老朽化対策(水道))
現状・課題		■ 水道事業が保有する配水池 31 池、水道管路約 2,400km の老朽化が進むなか、市民の安全・安心を確保するため、大規模な断水や濁水、2 次災害等の発生を防止できるように施設の健全性を確保する必要がある。併せて、将来の更新需要を踏まえ、事業量の平準化を図る必要がある。 ■ 全国で大規模地震が発生しており、本市においても上町断層帯地震や南海トラフ巨大地震等大規模地震の発生が懸念される中、令和 6 年能登半島地震での教訓を踏まえ、上下水道一体での耐震化を進める必要がある。 ■ 水道施設の耐震化には膨大な時間と費用が必要になるため、災害時に特に水道水が必要となる指定避難所や病院等に至る給水ルート耐震化など、優先度を踏まえた計画的かつ継続的な取組が必要である。
取組の内容		■ 水道施設の健全性を確保するため、施設の特性に応じた点検結果などをもとに、計画的に維持修繕・更新を行う。 ■ 漏水による二次災害の防止や経営への影響を抑制するため、衛星を用いた新技術を導入する。 ■ 震災時に特に水道水が必要となる指定避難所や病院等に至る給水ルートを耐震化する。 ■ 応急給水用水の貯留機能を確保するため、家原寺配水場を更新(耐震化)する。また更新時に施設規模を最適化(3 池→2 池)する。 ■ 配水場など被災することで水道システム全体の機能を失う急所施設に加え、災害医療協力病院や避難所等の重要施設に接続する水道管路については上下水道一体で耐震化を進める。
スケジュール	前期 (～9 月)	□ 基幹管路更新工事の施工(中区学園町等 約 6.6km) (通年) □ 基幹管路更新工事の発注・施工(南区檜尾等 約 1.6km) (通年) □ 水管橋の撤去および更新工事の施工(4 橋) (～9 月) □ 優先耐震化路線の耐震化工事の施工(東区西野等 約 0.5km) (～3 月) □ 各家庭へ水を配る配水支管の更新・耐震化工事 22km の発注・施工(通年) □ 人工衛星画像の解析技術を活用した漏水探知業務の発注(5 月) □ 家原寺配水場配水池更新工事の施工(～3 月) □ 配水池耐震補強工事実施設計(陶器・晴美台) (通年) □ アセットマネジメント手法に基づき、計画的に設備等の維持修繕・更新を実施(通年)
	後期 (～3 月)	□ 基幹管路更新工事の施工(中区学園町等 約 6.6km) (通年) □ 基幹管路更新工事の発注・施工(南区檜尾等 約 1.6km) (通年) □ 優先耐震化路線の耐震化工事の施工(東区西野等 約 0.5km) (～3 月) □ 各家庭へ水を配る配水支管の更新・耐震化工事 22km の発注・施工(通年) □ 人工衛星画像の解析技術を活用した漏水探知業務の完了(10 月) □ 漏水調査(現地確認) (R7-8) 発注(12 月) □ 家原寺配水場配水池更新工事の施工(～3 月)

(様式 4)

		☐ 配水池耐震補強工事実施設計（陶器・晴美台）（通年） ☐ アセットマネジメント手法に基づき、計画的に設備等の維持修繕・更新を実施（通年）	
	次年度以降	☐ 基幹管路および配水支管の耐震化（更新）を計画的に進める。 ☐ 令和 7～8 年度配水池耐震補強実施設計、令和 9 年度工事発注予定。 ☐ アセットマネジメント手法に基づき、計画的に設備等の維持修繕・更新を進める。 ☐ 人工衛星画像の解析技術を活用した漏水探知の効果検証	
進捗の状況	前期（～9 月）		
	後期（～3 月）		
2025 堺市基本計画	該当する施策	5 - (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上 5 - (2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
	寄与する KPI	5 - (1) : 水道管路の優先耐震化路線の耐震化率 [現状値 : 98.2% (2023年度)]	目標値 (2025 年度)
		5 - (2) : 水道管路の耐震化率 [現状値 : 32.7% (2023年度)]	5 - (1) 100% 5 - (2) 34.3%
未来都市計画 堺市 SDGs	最も貢献する SDGs のゴール	ゴール番号 6	安全な水とトイレを世界中に
	寄与する KPI	水道管路の優先耐震化路線の耐震化率 [現状値 : 98.2% (2023 年度)]	目標値 (2025 年度) 100%

重要取組シート

上下水道局

経営企画室、下水道管路部、下水道施設部

取組項目		施設の老朽化・災害対策の着実な推進 (地震対策・老朽化対策(下水道))
現状・課題		■ 下水道事業で保有する水再生センター3か所、ポンプ場6か所、下水道管きょ約3,100 kmの老朽化が進むなか、市民の安全・安心を守るため、道路陥没や汚水溢水等の被害を防止できるように施設の健全性を確保する必要がある。併せて、将来の改築需要を踏まえ、事業量の平準化を図る必要がある。 ■ 管路施設においては、埼玉県で発生した道路陥没事故を受け、老朽対策のあり方について見直しを進める必要がある。 ■ 全国で大規模地震が発生しており、本市においても上町断層帯地震や南海トラフ巨大地震等大規模地震の発生が懸念される中、令和6年能登半島地震での教訓を踏まえ、上下水道一体での耐震化を進める必要がある。
取組の内容		■ 施設の健全性を確保するため、施設の特性に応じた点検結果等をもとに、計画的な改築・修繕を行う。 ■ 埼玉県の事故を受け、現在検討されている国土交通省主催の有識者委員会の答申や国の方針を踏まえ、管路施設の維持更新や再構築のあり方について見直しを進める。また、国土交通省より要請された全国特別重点調査を実施する。 ■ 震災時においても下水道機能を確保するため、緊急交通路に埋設された管きょや、指定避難所から水再生センターをつなぐ管きょ等を対象とした「重要な管きょ」及び水再生センター・ポンプ場の「重要な土木施設」の耐震化を進める。 ■ 水再生センターなど被災することで下水道システム全体の機能を失う急所施設に加え、災害医療協力病院や避難所等の重要施設に接続する下水道管きょについては上下水道一体で耐震化を進める。
スケジュール	前期 (～9月)	☐ 地震対策及び老朽化対策に係る事業内容の精査・見直し(6月～通年) ☐ 下水道管きょの改築及び耐震化工事の発注・実施(堺区神明町東ほか)(通年) ☐ 下水道管きょの改築及び耐震対策実施設計業務の発注・実施(堺区神南辺町ほか)(通年) ☐ 全国特別重点調査等の実施(通年) ☐ 下水道管きょの計画的調査の実施(通年) ☐ 処理場・ポンプ場の土木施設の耐震診断業務、耐震化工事の発注・実施(三宝ほか)(7月) ☐ 処理場・ポンプ場の設備の改築更新工事の発注・実施(浜寺ほか)(～9月) ☐ アセットマネジメントシステムへの維持管理情報などの入力(通年) ☐ 検討委員会の中間とりまとめ内容確認(～9月)
	後期 (～3月)	☐ 地震対策及び老朽化対策に係る事業内容の精査・見直し(通年) ☐ 下水道管きょの改築及び耐震化工事の発注・実施(堺区神明町東ほか)(通年) ☐ 下水道管きょの改築及び耐震対策実施設計業務の発注・実施(堺区神南辺町ほか)

		(通年) ☐ 全国特別重点調査等の実施 (通年) ☐ 下水道管きよの計画的調査の実施 (通年) ☐ アセットマネジメントシステムへの維持管理情報などの入力 (通年) ☐ 処理場・ポンプ場の土木施設の耐震診断業務、耐震化工事の実施 (三宝ほか) (～3月) ☐ 処理場・ポンプ場の設備の改築更新工事の発注・実施 (三宝ほか) (～3月) ☐ 検討委員会の中間とりまとめを踏まえた管路老朽化対策の見直し (～3月) 【R7年度目標】 ☐ 下水道管きよの計画的調査率 28.5% ☐ 重要な管きよの耐震化率 97.3%	
	次年度以降	☐ 地震対策及び老朽化対策に係る事業内容の精査・見直し (～R8年度) ☐ 下水道管きよに係る維持・改築修繕の計画的な推進 ☐ 下水道設備に係る維持・改築修繕の計画的な推進 ☐ 重要な管きよ、重要な土木施設の耐震化を計画的に推進	
進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
2025 堺市基本計画	該当する施策	5 - (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上 5 - (2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
	寄与するKPI	—	目標値 (2025年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献するSDGsのゴール	ゴール番号 6	安全な水とトイレを世界中に
	寄与するKPI	—	目標値 (2025年度) —

重要取組シート

上下水道局

経営企画室、下水道管路部、下水道施設部

取組項目		施設の老朽化・災害対策の着実な推進 (浸水対策)
現状・課題		■局地的な大雨等に対し、浸水実績や浸水シミュレーションから、浸水危険解消重点地区を選定し、雨水管きょや雨水ポンプ場の整備などの浸水対策を推進してきた。 ■近年、気候変動等の影響により、局地的な大雨が増加傾向にあり、本市においても、浸水被害が発生している。 ■気候変動による降雨量の増加を考慮した計画降雨等を検討した上で、今後の整備の進め方を検討する必要がある。
取組の内容		■浸水被害の最小化を図るため、浸水危険解消重点地区（13 地区）を中心に雨水整備を進める。 ■R4 年 9 月の大雨の被害地区への浸水対策を実施する。 ■気候変動による将来的な降雨量増加を考慮した計画の見直しを推進する。 ■想定最大規模の降雨を対象とした内水ハザードマップの公表を行う。 ■上記公表に合わせて、内水ハザードマップの事前確認の重要性などの啓発を関係部局と庁内連携して取り組み、自助・共助の活動を促進する。
スケジュール	前期 (～9 月)	☐ 気候変動の影響を考慮した雨水整備計画の見直し（通年） ☐ 浸水危険解消重点地区に係る設計業務の実施（美原区多治井ほか）（通年） ☐ 浸水危険解消重点地区に係る工事の実施（中区新家町ほか）（通年） ☐ R4 年 9 月の大雨の被害地区に係る工事の実施（中区上之ほか）（～9 月） ☐ 新たな既往最大規模降雨（約 99mm/時間）、想定最大規模の降雨（147mm/時間）を対象とした浸水想定区域図をもとにハザードマップを関係局と調整の上、公表（出水期まで） ☐ 石津雨水ポンプ場建設事業整備方針検討業務の実施（通年）
	後期 (～3 月)	☐ 気候変動の影響を考慮した計画の見直し（通年） ☐ 浸水危険解消重点地区に係る設計業務の実施（美原区多治井ほか）（通年） ☐ 浸水危険解消重点地区に係る工事の実施（中区新家町ほか）（通年） ☐ 石津雨水ポンプ場建設事業整備方針検討業務の実施（通年） 【R 7 年度目標】 ☐ 重点地区の浸水対策実施率 30.8%（4 / 13 地区）
	次年度以降	☐ 浸水危険解消重点地区などの雨水整備を進める。 ☐ 石津雨水ポンプ場建設事業整備方針検討業務の実施（～R8 年度末）
進捗の状況	前期 (～9 月)	

(様式 4)

	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5 - (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上		
	寄与する KPI	—		目標値 (2025 年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号	住み続けられるまちづくりを	
		11		
	寄与する KPI	—		目標値 (2025 年度) —